

水門・陸閘等管理システムガイドライン ～これまでの検討と今後の取組について～

H23.3.11

東日本大震災 水門・陸閘等の操作者が多数犠牲に

H25年度

現場操作員の安全が最優先であることを明確化し、
「津波・高潮対策における水門・陸閘等管理システムガイドライン」を改訂

課題

紙ベースで操作委託されていないケースがある

操作者の安全確保のための
操作・退避ルールがない

H26年度

「委託のあり方」をガイドラインへ追加

「操作・退避ルール」をガイドラインへ追加

検討課題：
委託契約書のひな形がなく、すぐに契約締結をできない

「操作規則の記載例」の作成

検討課題：
現場操作員へ操作・退避ルールを浸透させる手段が不足

今回補訂

H27年度

操作等委託契約標準案の作成

ガイドラインの補訂

閉める手引き(携行版)の作成

H28年度～

国

地方ブロック説明会の開催

海岸管理者による円滑な調整の場の設置支援

海岸管理者

操作者と相互確認の実施

個別説明、協議会等
の開催による
共通認識の形成

水門・陸閘等管理システムガイドライン 主な追加事項等

- 現場操作員が現地に携行して操作・退避ルールを確認できる「閉める手引き(携行版)」や、操作等委託を早期に締結できるよう「操作等委託契約標準案」等をガイドラインに追加
- 遠地地震に関する記述や、海岸管理者等の取り組むべき事項等を新たにガイドラインに追記

<ガイドライン目次>

<主な追加事項等>

遠地津波に関する記述の修正・追記

- はじめに
- 第1章 総則
- 第2章 設計・改善手順
- 第3章 現状把握・評価
- 第4章 総合的検討
- 第5章 設備設計
- 第6章 体制・運用
 - 第1節 操作規則
 - 1.1 操作規則の整備
 - 1.2 操作・退避ルールの検討
 - 1.3 管理又は操作の委託
 - 1.4 操作・退避ルールの実効性確保のための平時の取り組み
- 第7章 点検・整備
- 添付資料
- 参考資料

- 「水門・陸閘等の運用管理にあたって、個別説明、協議会等の開催により、管理者、市町村、現場操作員、利用者、住民等関係者との間で、相互理解を図るべき」旨を追記
- 「操作規則等の内容を現場操作員が確実に理解及び履行できるよう、委託者と現場操作員との相互確認を行う」旨を追記
- 「操作等委託内容のチェックリスト(例)」、「操作等委託契約標準案」、「津波・高潮等の災害の基礎知識に関する資料」を追加
- 「閉める手引き(携行版)」を追加

(表面)

■ 津波発生時の操作タイムライン確認

①津波到達予想時刻(:)

②退避完了時刻 (:)

③退避開始時刻 (:)

④現場作業時刻 (:)

⑤現在の時刻 (:)

(裏面)

■ 津波発生時の操作タイムライン確認

①津波到達予想時刻(:)

②退避完了時刻 (:)

③退避開始時刻 (:)

④現場作業時刻 (:)

⑤現在の時刻 (:)

閉める手引き(携行版)

※その他の修正内容は、以下URLに掲載している新旧対照表を参照ください
http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr7_000056.html